議会だより八女
Yame
2026
11
No.194
笑顔あふれる未来へ、一歩ずつ

木を育て、人を育み、未来をひらく

全国林業研究グループ連絡協議会主催
令和７年度　山・森・人フォトコンテスト
全国林業改良普及協会会長賞受賞



写真タイトル：「新人指導」吉本由美氏撮影
（黒木町にて）

P2　：一般質問
P12：9月定例会
P21：8月臨時会
P22：委員会からの活動報告
P24：まちの声（インタビュー）



一般質問

一般質問ってなに？

一般質問は、議員が市政のさまざまな課題や問題点について、質問を行い、説明や報告を求めます。そうすることで、市の方針や取組みを市民に明らかにします。

※一般質問の記事は、議員本人が原稿を作成しています。

過去の一般質問はこちらからご覧ください。

9月定例会 質問者・質問事項一覧

坂本 治郎 議員 （P６）
①ダニエルイノウエミュージアム周辺の季節的混雑と安全対策について

川口 堅志 議員 （P６）
①八女市すべての地域に住み続けられる政策について
②空き家対策について

栗原 吉平 議員 （P７）
①輸出戦略課の施策について
②アンテナショップ「八女本舗」について
③消防団の持続可能な消防力確保について

牛島 孝之 議員 （P７）
①狭隘道路解消について八女市の考えは
②新規就農者、農業後継者育成のための施策は
③八女市の教育問題について

三角 真弓 議員 （P８）
①災害に強いまちづくりについて
②一般国道３号吉田交差点改良工事について
③健康寿命延伸のための予防医療について

古賀 邦彦 議員 （P3）
①災害対策について
②特殊詐欺について
③指定天然記念物の管理について

森 茂生 議員 （P４）
①不登校について
②在留外国人について
③農家の労災保険加入について
④成年後見制度について

花下 主茂 議員 （P4）
①八女古墳群をはじめとする歴史文化資産の保存・継承について
②データを活用した行政経営について

水町 典子 議員 （P５）
①八女市の防災対策について
②平和事業について
③新たなオンデマンド交通について

堤 康幸 議員 （P５）
①関係人口創出について
②持続可能な地域づくりについて

小山　和也　議員　（P10）

①軽自動車税の経年車重課について
②交通安全対策について
③大学や短大などの誘致について

石橋　義博　議員　（P10）

①八女市の生活困窮者への取組について
②八女市の経済対策について
③人口減少を踏まえた政策について

久間　寿紀　議員　（P11）

①八女市の教育環境について

原田　英雄　議員　（P11）

①大規模地震への備えと今後の防災・減災対策について
②持続可能な地域社会の実現に向けた生活環境の改善について

田中　栄一　議員　（P８）

①八女市財政の健全性をどのように捉えているか

高橋　信広　議員　（P９）

①財政運営について
②健康寿命の延伸について～高齢者の健康増進対策～

高山　正信　議員　（P９）

①八女市立学校における部活動の地域展開について
②異常気象に対応した八女市の農業施策について

災害の備えとして、TKB（トイレ・キッチン・ベッド）の具体的対策は



古賀邦彦（こが くにひこ）

映像配信サイト

市長　TKB対策を進めており、避難者の心身の負担軽減を図るよう努めている

災害対策について

議員　矢部川堤防強化工事の今年度の計画は。

市長　中柳瀬行政区、上柳瀬行政区で工事が計画されている。

熊本地震の教訓を活かす

議員　広域避難（二次避難）の対策は。

市長　県内市町村間の相互応援に関する基本協定を締結し、被災者が利用できる施設の提供を相互に行う体制を構築している。

議員　災害用井戸の整備拡大に向けた取り組み状況は。

市長　井戸を備えた公共施設102箇所を指定している。併せて、個人などで所有する井戸を災害時に地域内で活用する取り組みを推進している。



熊本地震発災１週間後の避難所（しんぶん赤旗より引用）

東京都北区の小学校校舎火災の教訓を活かす

議員　学校施設の防火・避難体制、とりわけ、救助袋の活用が指摘されている。避難訓練で救助袋を使用している学校が少ない。時間を取り、器具の取扱いの確認が必要ではないか。

教育長　消火避難訓練の時間配分や実施回数等を工夫し、消防本部と相談し実践していきたい。

国際電話着信拒否手続について

議員　今後の取り組みは。

市長　関係機関と連携し、継続的な周知啓発と有効な被害防止策に取り組む。

酷暑の中、空調のない避難所に雑魚寝。避難所環境改善は待ったなし。

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

「学びの多様化学校」設置の進捗状況は



森 茂生（もり しげお）

映像配信サイト

教育長　令和９年４月の開校を目指し、準備を進めている

農家の労災保険加入について

議員　農家が１人でも従業員を雇用すれば労災保険加入が義務化される。農業新聞によると、農作業事故が推計で年間９万件、令和６年度の死亡者は２８７人で建設業の３倍、全産業の13倍とある。また、入院やケガの実態は不明となっている。労災保険に加入すれば治療代、入院代等は原則無料である。死亡や後遺症が残った場合は、年金や一時金が支給される。労災保険や農業経営者自身が加入できる特別加入制度は国保に比べ、非常に恵まれた保障であると考える。加入義務化は５年後だが、５年を待たず加入促進について市を挙げて取り組むべきではないか。

市長　経営が厳しい中、農業を継続する後押しになると考える。市として、この制度の普及啓発を発信し、加入促進についてしっかり取り組む。保険料の負担支援や農協、関係機関の事務負担の支援等ができないか考えていきたい。



在留外国人について

議員　市の在留外国人の現状は。

市長　本年７月末の在留外国人の状況は、１１３２人でベトナム、インドネシア、フィリピンが上位３か国となっている。

バイパス整備に伴う文化財や歴史的景観の保全をどう進めるのか



花下 主茂（はなした あるも）

映像配信サイト

市長　保存活用計画の策定を待たず、国と連携し保全と活用に取り組む

八女古墳群の保存・継承

議員　大規模開発の情報は文化財担当へ早期に共有する仕組みが必要ではないか。

副市長　各課の規制情報を共有する仕組みを構築し、庁内共有を図る。

議員　磐井の戦い１５００年の節目を迎える上で、その先の保存・継承にどのようにつなげるのか。

教育長　記念事業の成果を残すことが使命である。「八女ふる里学」でも歴史を学ぶ場を継承し、発展させる。



八女古墳群のある八女丘陵

データ活用と行政経営

議員　業務データ等を活用し、政策や既存事業を見直した実績はあるか。

室長　総合計画等で活用しているが、具体的成果は今のところない。

議員　オープンデータ(※)の整備が遅れた要因は。

室長　「やめマップ（※）」を優先したため、二次利用向け整備が遅れている。

議員　データを予算編成や事業評価に組み込み、効果の薄い事業の見直しにも活用すべきでは。

副市長　行政需要をデータで説明し、効果の薄い事業は見直すことが重要と考える。

議員　データを行政資産として政策に生かすのか。

市長　政策運営にデータ活用は不可欠と考える。

※オープンデータ
誰でも自由に二次利用できる形で公開されたデータ。

※やめマップ
市の情報を地図上で見やすく表示する地理情報システム。

桜の接ぎ木（嘉代子桜）（※）の受け入れ、植樹が出来ないか



みずまち のりこ
水町典子

映像配信サイト

市長　平和への願いや原爆の惨禍を継承する上で、意義深いものと認識している

議員　昨年９月議会で、本庁や支所で、市民とともに千羽鶴を作成するよう提案し、本年、取り組まれたが、継続されるのか。

課長　市民一丸となり、核兵器廃絶と世界恒久平和に取り組み、平和意識醸成のためにも重要であるので、継続していく。

防災対策について

議員　トイレトレーラーのし尿などを下水道や浄化槽へ流す処理は可能か。

課長　構造上は可能だが、衛生面等から、専門業者に汲み取りと清掃を委託している。

議員　被災した井戸への対応策はあるか。

局長　被災者に対し、自己負担の軽減を図ることが出来る制度がある（※）。



満開の桜の木

新たなオンデマンド交通

議員　大きく変わる点は。

課長　エリア越えが可能となる。３６５日運行され、スマホ予約やキャッシュレス決済、定額乗り放題サービスを導入する。

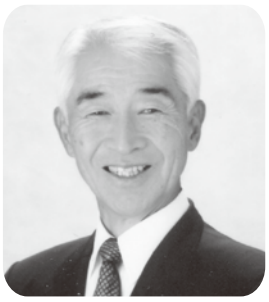
議員　エリア越えを利用する際、回数券のような制度の導入は出来ないか。

課長　路線バスや一般タクシーとの役割分担と乗り継ぎの円滑化を進め、利用状況や目的に応じ、移動手段を選べることも重視している。現段階で特別な割引等は考えていない。

※嘉代子桜
長崎の原爆により15歳で亡くなった林嘉代子さんを偲び、母・津恵さんが長崎市立城山小学校に贈った桜の事。現在、接ぎ木の苗木の植樹運動が行われている。

※八女市飲料水改善事業補助金
上水道事業の計画区域外の地域で、井戸枯れ、水質悪化などの理由により、安心で安全な飲料水確保のために、その設備の新設及び改善に必要な経費の一部を補助するもの。平常時の補助率は５割で、上限が20万円であるのに対し、被災時の補助率は７割で、上限は設けない。

二地域居住・関係人口施策への取組の現状は



つつみ やすゆき
堤康幸

映像配信サイト

市長　お試し居住や山村留学、保育園留学、クラインガルテン事業などを実施している

議員　保育園留学事業の目的と成果は。

課長　二地域居住を推進し、将来的に移住のきっかけづくりになることを事業の目的としている。本分保育園では昨年より、関東圏の７世帯が利用し、評判は良かった。利用者には、移住や子育て支援の情報も提供。今年度は、矢部保育園での取り組みも考えている。

議員　クラインガルテン（※）実証事業の目的は何か。

市長　関係人口の増加や移住のきっかけづくりを目的にしている。分散型クラインガルテンという先進的な試みにより、空き家や耕作放棄地の有効活用も目指している。

議員　地域課題の解決と関係人口創出に資すると考える、具体策と効果は。

課長　空き家を滞在拠点に、耕作放棄地を田畑として活用する。利用者が増えることで、地域の活性化や経済波及効果、新規就農、起業等に発展することを期待している。

議員　事業推進には地域の協力が必要と考えるが。

課長　黒木の中心部で実証を開始。先日、地元の好意で再生した畑に「ジャガイモ」の植え付けを実施した。他地域への展開も視野に推進して行く。



再生した未利用の畑に「ジャガイモ」が育っている（黒木地区内）

※クラインガルテン
専用の家屋で短期滞在し、田舎暮らしや農業を楽しむ制度。

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

上陽の川遊び客の安全を守り、奥八女の観光施設への回遊につなげられないか



坂本治郎（さかもとじろう）

映像配信サイト

課長　安全策は県などと協議し、地域への回遊策は研究する

議員　ダニエルイノウエミュージアム２階に、歴史や関連する展示スペースとして移転してはどうか。

課長　展示や観光案内、地域情報発信拠点等について観光需要や地域のニーズを踏まえ、指定管理者と活用方法を研究する。

議員　川遊び客の観光施設への回遊や地域での消費はどの程度あるか把握しているか。

課長　具体的な人流データや消費動向の調査はしておらず、数値は把握していない。地域経済への波及効果を高める方策を研究していく。

議員　水難事故を受け、遊泳注意区域が設けられた。しかし、遊泳場所を制限することが本当に命を守ることにつながるのか。別の危険な川に人が移る恐れもある。現に利用する人の安全性を高め、安心して川と親しめる場所を奥八女に増やす働きかけはどうか。



課長　今後の運用や安全対策について、関係機関との協議会で検討する。遊泳場所の制限が命を守ることにつながるかという視点もこの協議会に伝える。

市長　県との連携は必須である。注意喚起や呼びかけを多言語化する等の対応を関係機関と検討していく。また、来訪者の分散や地域での消費拡大も考えていきたい。

八女市すべての地域に住み続けられる政策について



川口堅志（かわぐちかたし）

映像配信サイト

市長　地域情報通信基盤整備推進事業等を行い、住環境の整備を推進する

議員　中山間地域の我が集落では、ピーク時に比べ人口が半減し、住民のほとんどは高齢者である。住み慣れた集落に住み続けるための課題や不安が山積している。聞き取り調査など、どのように実施されているのか。

課長　各地の集落の課題や不安は、共通するような課題もあればその集落独自の課題もある。本年度から中山間政策係を設置し、各地域ごとの特性や課題の整理にあたり、現場で把握することに努めている。具体的には、各支所や地域包括支援センター、社会福祉協議会等と密接に連携を図り、現場の実態等の情報共有を図るようにしている。



中山間地域の水田風景

空き家対策について

議員　所有者が分からない空き家が相当数あると思うが、管理されていない危険な空き家の所有者を把握できているか。

課長　管理されていない危険な空き家等の所有者については職員による現地確認や行政区長からの情報提供、さらに法に基づいて、所有者や相続人等の調査を実施し、適切な管理を働きかけている。

<一般質問の記事は質問議員が執筆しています>

輸出戦略課の主な施策は

市長　輸出促進協議会を中心に、事業者支援を拡大する



栗原吉平（くりはらきちへい）

映像配信サイト

議員　八女茶をはじめとする農産物・特産品の輸出を、今後どのように進めるのか。

市長　本年４月に輸出戦略課を設置し、５月には関係５団体と輸出促進協議会を設立した。県やジェトロ（※）等と連携し、輸出に前向きな事業者の掘り起こしや伴走支援を行う。さらに、海外で創出した八女のファンを、インバウンドによる観光客の誘致にもつなげ、地域経済の循環を目指す。

アンテナショップ「八女本舗」について

議員　八女本舗の今後の展開と情報発信拠点としての方向性は。

市長　八女本舗は年間約１億２千万円を売り上げ、八女産品の販売や情報発信により、関係人口の拡大に貢献している。一方、入居するビルが令和９年10月末に閉鎖されるため、今後のアンテナショップの位置づけや在り方について検討していく。

八女市消防団の持続可能な消防力について

議員　団員の減少・高齢化が進む中、今後どのように消防力を維持するのか。

市長　消防団への諮問・答申を踏まえ、団員定数や組織編成等を見直している。また、手当や各種支援事業など、処遇改善にも取り組んでいる。今後も消防団と意見交換を行いながら、将来にわたって持続可能な地域防災体制の確立に取り組む。

R8.4.1 現在の各支団別団員数と機能別団員を含めた年齢構成,消防車両の数

支団名	団員数	うち機能別団員	平均年齢	ポンプ車	積載車	軽積載車	多機能工作車	車両計
本部（団長）	1		62					
八女支団	501	110	39.1	8	4	2	1	15
上陽支団	157	64	45.9	2	6	7		15
星野支団	159	89	44.1	2	6			8
矢部支団	124	51	54.4	1	8			9
黒木支団	410	167	44.7	7	14	7		28
立花支団	213	44	42.3	3	1	4		8
合　計	1,565	525	43.4	23	39	20	1	83

※平均年齢は少数点第二位を四捨五入

※ジェトロ　独立行政法人日本貿易振興機構。

狭隘（きょうあい）道路（※）解消について市の考えは

市長　現在、ソフト事業を活用し、後退道路用地の整備に努めている



牛島孝之（うしじまたかゆき）

映像配信サイト

議員　建築確認業務は民間でも行っているが、今現在、福岡県内に何社ほどあるのか。

課長　福岡県内で建築確認申請を取り扱う指定確認検査機関は18機関である。平成10年に法改正が行われ、翌年、平成11年５月１日より民間企業である指定確認検査機関でも行えるようになった。

議員　道路幅員については、市の建設課でしか確定できないと思うが。

課長　市と協議があった場合、市では道路台帳上の幅員ではなく、有効幅員でのセットバックをお願いしている。

新規就農者、農業後継者育成のための施策は

議員　米の概算金について市の考えは。

課長　市としては、当然米の価格動向には注視しながらもできる環境支援に努めていく。また、米政策を最大限に地域性に合わせて支援していくことが重要だと考えている。

議員　八女市親元就農支援給付事業とは。

課長　令和８年度より新たに親元就農給付事業を始めたが、これについては、国の事業で対象とならないものを市として支援していくものである。

米価概算金（過去10年間）

●JAふくおか八女概算金の推移（60 kgあたり）

（単位：円）

主要品種名	H28年産	H29年産	H30年産	R1年産	R2年産	R3年産	R4年産	R5年産	R6年産	R7年産
夢つくし	11,700	12,000	12,000	12,480	12,180	11,160	11,160	11,760	18,240	26,460
元気つくし	11,700	12,000	12,000	12,480	12,180	11,160	11,160	11,760	18,240	26,460
ヒノヒカリ	10,680	11,460	11,460	11,940	11,460	9,960	9,660	10,560	17,040	25,500

※狭隘道路　建築基準法上で定められた幅員（幅）が４メートル未満の道路。

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

災害に強いまちづくりの一環として、豪雨時の対策をどう考えているか



三角真弓（みすみ まゆみ）

映像配信サイト

市長　河川護岸の改修や堆積土砂の浚渫（しゅんせつ）、流れに支障となる堰等の改修に努める

議員　**雨水貯留槽、調整池等の拡充の考えは。**

市長　県管理河川と一体となり浸水対策を進め、必要に応じて調整池等の雨水貯留施設を検討する。

議員　**防災重点農業用ため池の劣化の現状は。**

市長　地震・豪雨耐性評価調査も進め、劣化状況等について地域住民や関係者等と協議を行っている。

一般国道3号吉田交差点改良工事について

議員　**工事の進捗状況は。**

市長　現在、国道東側の歩道部分の工事を国が実施しており、現時点で完成時期は未定である。

議員　**交差点の矢印式信号機の設置の考えは。**

市長　信号表示時間の調整や右折矢印の設置について、関係機関と協議しており、引き続き要望を行う。

健康寿命延伸の為の予防医療について

議員　**高齢者肺炎球菌ワクチンへの取り組みは。**

市長　65歳の市民を対象に定期接種を実施している。

議員　**糖尿病の発症・重症化予防は。**

市長　受診勧奨や保健指導・生活改善指導を実施している。

議員　**インフルエンザと比較して新型コロナウイルスの死亡報告者数は約15倍であるが、対策は。**

市長　医療機関や医師会と連携を図り、市民が安心して定期接種を受けられる体制を構築していく。



防災重点農業用ため池（山形堤）

過疎債等の依存財源に頼る財政運営は、後年度の財政を圧迫しないか



田中栄一（たなか えいいち）

映像配信サイト

市長　各財政指標は健全な状況であり、今後も持続可能な財政運営に努める

議員　**財政調整基金の適正規模（R7年度残高95億円）と活用計画、災害リスクへの備えをどう考えているか。**

市長　災害等の有事の備えとして必要財源を堅持しつつ、市民の安全・安心や将来の成長に直結する施策には、機を逃さず適切に投資をしていく必要がある。

課長　財政調整基金は、災害時の緊急財源として90億円程度を担保しておきたい。

過去5年間の積立金（財調、減債、特目基金）の年度末現在高

（単位：千円）

一般会計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
財政調整基金	8,179,318	9,051,330	9,228,233	9,371,043	9,509,956
減債基金	2,244,177	2,647,477	2,819,621	2,939,509	3,013,893
その他特定目的基金	7,172,902	7,389,954	7,365,282	7,210,765	7,414,700
合計	17,596,397	19,088,761	19,413,136	19,521,317	19,938,549

過去5年間の起債（過疎債、その他）の状況

（単位：千円）

一般会計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
過疎対策事業債	13,363,614	13,447,910	13,727,227	13,818,719	13,675,401
その他起債	18,030,577	19,149,552	22,518,131	23,216,307	23,166,007
合計	31,394,191	32,597,462	36,245,358	37,035,026	36,841,408

議員　**2040年ビジョン等の中で、人口減少に伴う税収減を補うための具体的な財政基盤づくりや経費節減の取り組みをどのように進めていくのか。**

市長　持続可能な行政サービス維持のため「稼ぐ八女市」の基盤づくりに、基幹産業である農業や商工分野での輸出促進やふるさと納税の強化に取り組んでいる。

経費節減に向けては、デジタル化や行政手続の見直しによる事務事業の効率化を図り、公共施設の最適化など行財政改革に努めていく。

部長　大型プロジェクト等は、予算への影響を考え、10年程度先を見越した事業を検討するため、各課の現状見通し等を聴取し、財政負担が過度に偏らないバランスの取れた財政運営を心がけている。

今後の財政運営をどのように考えているのか

市長　事業の選択と集中及びふるさと納税増額等歳入確保とコスト削減に努める



高橋信広（たかはし　のぶひろ）

映像配信サイト

固定資産税率の見直しは

議員　本市の財政状況をどのように評価し、どこが課題と考えているのか。

部長　現時点では健全と評価している。懸念点として、本市の構造的弱みと財政の硬直化である。このため、道路や河川及び多数の公共施設の維持管理コストが人口規模に対して極めて大きくなっていると認識している。

議員　固定資産税率が標準税率より0・2％高いが、固定資産税に対する市長の考えは。

市長　固定資産税率を0・2％引き下げると4億円以上の減収になる。市民サービスや政策の一部を削減しなければならず、現時点では得策ではない。市民の税負担という観点を踏まえて、今後も議論を続けていきたい。

≪固定資産税　近隣自治体との比較表≫　【単位；千円】

	市税総額（令和６年度決算ベース）	固定資産税	固定資産税率	人口（令和6年3月31日現在）	世帯数	人口１人当り固定資産税	八女市対比
八女市	6,935,060	3,557,429	1.6%	59,835	25,811	59.5	—
筑後市	7,194,964	3,753,268	1.5%	49,181	21,088	76.3	128.4%
広川町	2,532,790	1,326,958	1.4%	19,159	8,209	69.3	116.5%
柳川市	6,642,324	3,031,684	1.4%	61,926	26,390	49.0	82.3%
みやま市	3,755,294	1,983,247	1.4%	34,700	14,643	57.2	96.1%
大牟田市	14,530,920	7,818,826	1.6%	105,753	55,254	73.9	124.4%
うきは市	2,940,037	1,461,316	1.4%	27,638	11,525	52.9	88.9%

ふるさと納税改正の影響

議員　国のふるさと納税に関する改正は、本市にとって有利になるのでは。

課長　本来の制度の趣旨に沿うものと考える。経費率が40％になる令和11年には現状より年間2億円の経費削減が求められることになり、極めて厳しい影響があると受け止めている。対策として、ポータルサイト業者との契約の見直しや本市独自サイトの活用により、経費削減を最優先に取り組む。

収入保険の保険料や農業共済の掛金に対する市独自の助成ができないか

市長　農業共済、収入保険の掛金保険料への支援策は前向きに検討していく



高山正信（たかやま　まさのぶ）

映像配信サイト

異常気象に対応した農業施策について

議員　今回の少雨・干ばつが今後の収量や品質、農業者の経営にどのように影響を及ぼすと考えているのか。

課長　農作物の生育不足や品質低下、収量減少による農業者の減収、経営圧迫が懸念される。状況が長期化すれば、離農や耕作放棄地の増加、生産基盤の縮小など、本市農業に深刻な影響を及ぼすものと認識している。



議員　今後も異常気象が想定される中、干ばつに強い農業環境の整備が必要ではないか。

課長　干ばつや水害等に備え、関係機関と連携し、気候変動に対応した生産体制の確立や技術指導、環境整備の支援に努める。

市立学校における部活動の地域展開について

議員　会費や指導者への報酬など、保護者の経済的負担について、どのように考えているのか。

課長　経済的に厳しい家庭への補助制度は必要である。地域クラブ側に対しても極端な負担増とならない適正な料金設定や会費体系となるよう働きかける。

議員　生徒の学校間の移動にタクシーによる移動補助を実施しているが、課題は。

課長　移動に時間がかかり、練習時間が少なくなることや、今後、学校間の移動が増えた場合、必要なタクシーの台数や予算の確保が必要となる。

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

１３年以上経過した軽自動車税の重課分を本市で助成や補助はできないか



小山和也（おやまかずや）

映像配信サイト

市長　国で決まった重課分を市が助成や補助をすることは難しい

議員　まだ十分乗れる車が13年経つと税金が上がるというのは、市民も納得いかないと思うが。

市長　行政において税制度というのは公平性が一番大事なところである。そこに自治体として補助金を出すのは難しい。市の主要産業にとって自動車の利用が必要であることを鑑み、物価高や燃料代等の支援が不可欠だと思うので、意見を聞きながら税制度の支援以外の形で取り組んでいきたい。

交通安全施設について

議員　交通安全施設（※）の新設、修理等の費用は誰が負担しているのか。

室長　市道に関しては道路管理者である市が全額を負担して計画的に実施している。



大学や短大等の誘致について

議員　八女東部地域への大学や短大等の誘致を市としてどう考えているか。

市長　大学や短大に限らず企業の誘致も望みはある。大学の一部や企業誘致も一つの選択肢として持っている。

議員　大学や短大を誘致することによって、そこに学生が住んでくれることは定住政策としても非常に大きいと思うが。

市長　定住ということにとらわれず今後も関係人口や交流人口という形で可能性を追求しながら企業や大学の誘致に取り組んでいく。

※交通安全施設　ガードレールやカーブミラーのこと。

生活困窮者への支援事業は



石橋義博（いしばしよしひろ）

映像配信サイト

市長　自立相談支援事業として地域包括ケア推進室に相談員を配置している

議員　生活保護受給者の現状と具体的な支援策は。

市長　被保護世帯数５１４世帯、被保護人数は６４４人、外国籍２世帯、２人である。長引く物価高騰等の影響により、ここ数年増加傾向にある。支援策としては、家賃や転居費用を補助する住居確保給付金事業や家計改善支援事業、就労準備支援事業等を実施している。

各分野の経済対策について

議員　経済対策としての今後の対応は。

市長　農業分野では、引き続き就農支援拡充による担い手確保をはじめ、農産物の付加価値向上と販路開拓を推進する。林業分野では、国の補助事業等を活用し、森林の整備保全に努める。また、林業従事者の育成支援による担い手確保を行い、経営基盤の強化を図る。商工業分野では、昨今の厳しい経済状況を踏まえ、本市独自の融資制度のさらなる充実を図りながら、雇用の創出と所得向上につながる施策を総合的に展開する。観光業分野では、第３次茶のくに観光アクションプランに基づき、インバウンド対策や観光商品の開発等を推進し、交流人口を創出するまちづくりに努める。



<一般質問の記事は質問議員が執筆しています>

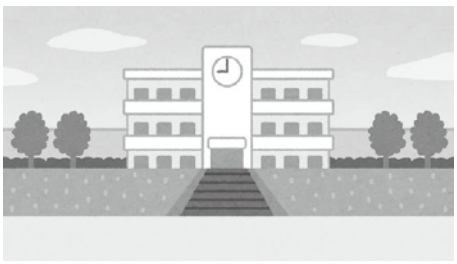
児童、生徒数が減少しているが、今後の旧町村の小中学校の在り方は

課長　旧町村ごとに１つの小中学校、義務教育学校を堅持する



久間寿紀（くまひさのり）

映像配信サイト



議員　現在の旧町村内の児童・生徒数と今後の推移については。

課長　令和３年５月時点では１３２６人だったが、本年５月時点で１０３３人、５年間で約22％の減少である。５年後の令和13年度には７８１人、約24％減少する見込みである。

議員　今後の人口減少に伴い、子どもたちの減少は目に見えている。空き教室が増える中、どう対処していくのか。

課長　オープンスクール（※）、学校見学会を実施し、市中心部から山間部の学校へ進学できる取り組みを行っている。

議員　旧町村内に一つの学校を維持する考えに変わりはないのか。

課長　学校は学びの場であると同時に地域の活力、コミュニティの維持の場であり、現在もその考えに変わりはない。

議員　中学校の部活動は生徒数の減少で難しくなってきているが、どうするのか。

課長　現在、拠点校への移動補助を行っている。今後も解決策を検討していく必要がある。

部活動を活用し、八女に魅力を感じる子どもたちを育ててほしい。

※オープンスクール　学校の施設や授業、部活動等を公開するイベント。本年８月に矢部清流学園で実施。年中児から小学５年生まで12名、保護者を含めて総勢30名程度の参加があった。

新耐震基準に適合していない公共施設に対する今後の対応方針は

市長　市民の命と財産を守ることを第一に考え、スピード感を持って取り組む



原田英雄（はらだひでお）

映像配信サイト



大規模地震への備えと今後の防災・減災対策について

議員　広大な本市で職員のみの災害対応は困難である。不足するマンパワーに今後どのように取り組むのか。

部長　対応可能な領域を見極め官民連携や地域協働へシフトすることが重要である。国の動向や他自治体の教訓を参考に、防災体制を不断に見直していく。

議員　市耐震改修促進計画を全庁で共有し推進する体制づくりが必要では。

副市長　計画では令和12年度末までに95％が目標だが、現在77％程度で加速化が必要である。機動的に連携できる体制を作っていきたい。

持続可能な地域社会へ生活環境の改善について

議員　渇水で困窮する水道未整備地区への飲料水改善事業補助金上限20万円の引き上げなど制度見直しはできないか。

市長　庁内で議論しており、今後の移住・定住推進も踏まえ前向きに検討したい。

議員　幹線道路整備は、単なる経済効率だけでなく防災や通学の安全など、全庁的視点から優先順位を明確化し、効果的に進めるべきではないか。

市長　市民の声を大事に、優先順位付けを行いながら、スピード感のある事業実施につなげていきたい。

昭和56年５月以前の旧耐震建物は大地震で倒壊の心配あり。まずは耐震診断を！

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

9月 定例会

９月定例会は、９月２日から９月29日までの28日間の会期で開催しました。

市長から一般会計補正予算や条例の制定、下水道事業会計、人事、令和７年度決算認定（一般会計、特別会計、水道・下水道事業会計）などが提案され、いずれも原案どおり可決・認定しました。※議案の賛否表は１９～２０ページ

◆一般会計決算の状況

令和7年度の一般会計の歳入は、466億9388万円、歳出は451億6893万円となりいずれも前年度と比べて増額し、差引額は15億2495万円となりました。

◆黒字決算の主な理由は

歳入面では、市税等の収入額が見込みを上回ったこと、歳出面では、工事費の執行残などによるものです。

◆黒字決算で基金に積み立て

歳入歳出差引額から令和８年度に繰り越して使うべき財源額を除いた実質収支額は12億7881万円となり、この中から1億2800万円が財政調整基金（貯金）に積み立てられています。



令和7年度一般会計　決算状況

歳入総額	466億9388万円 前年度比1.96%増
歳出総額	451億6893万円 前年度比1.86%増
差引額	15億2495万円
令和８年度繰越額	2億4614万円
実質収支額	12億7881万円

（決算状況及び記事の金額は四捨五入）

◆財政指標でみると・・・

人件費や扶助費、公債費などの経常的な支出が市税などの経常的な収入に占める割合を表す経常収支比率は92.7%（令和６年度92.6%）と上昇しました。

◆経常収支比率

令和６年度全国市町村平均 93.8%

※経常収支比率

財政の弾力性を示す指標で、比率が高くなれば市の独自事業の抑制等が懸念されます。

◆実質公債費比率（3ヵ年平均）

令和7年度は 5.6%

早期健全化基準は25.0％（基準値）

※早期健全化基準

財政健全化法に規定された基準で、基準値を超えた場合は、財政の健全化が求められます。

◆財政健全化法に基づく結果は・・・

借金返済の負担の大きさを表す実質公債費比率（３ヵ年平均値）は5.6%（令和６年度 6.7%）で前年度より1.1 ポイント減少しています。早期健全化基準の25.0％を大きく下回っていますが、今後も厳しい財政事情が見込まれるなか、継続して維持する努力が望まれています。

決算審査特別委員会で決算状況をチェック✓

審査の結果、令和７年度一般会計決算額451億6893万円を認定

議長を除く21人で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。
議会が当初議決した趣旨と目的に沿って適正かつ効率的に予算が執行されたのか、また、住民サービスや住民福祉の向上に効果が発揮できたのかなどを検証・審査するため、分科会（各常任委員会）で審査にあたりました。

◆決算審査の流れ

Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	Step 5
<本会議>	<全体会>	<分科会>	<全体会>	<本会議>
議案の提出後 全体会に付託	各分科会の設置 審査の確認	市の説明後、 質疑・審査 ※総務文教・ 厚生・建設経済 分科会で審査	各分科会報告 ↓ 全体質疑 ↓ 討論・採決	委員長報告 ↓ 質疑 ↓ 討論・採決

◆審査の結果（委員長報告）

［認定第１号］令和７年度八女市各会計歳入歳出決算認定は、一般会計・特別会計ともに指摘事項はありませんでした。討論が行われ、採決の結果、賛成多数で認定することに決しました。
［認定第２号］令和７年度八女市水道事業会計決算認定、［認定第３号］令和７年度八女市下水道事業会計決算認定についても、指摘事項はありませんでした。採決の結果、全会一致で認定することに決しました。

◆議会での討論【認定第1号】

賛成討論

市税やふるさと支援寄付金等の歳入が前年より増加し、様々な事業に取り組んでいる。地域経済の活性化や子育て支援等のさらなる充実につながっているものだと評価する。今後は一段と厳しい財政事情が予測される。来年度の予算編成においては、選択と集中を念頭にメリハリのある予算配分となるよう期待する。

川口　堅志　議員

反対討論

現在、市では15歳までのこども医療費の無償化を実施しているが、18歳までの無償化を求める。また、保育所の定員を大幅に増やし、隠れ待機児童解消を求める。さらに、多額の同和関係事業への支出がされているが、不公平な同和事業はただちにやめるべきである。長引く物価高で苦しむ市民に重い負担となっている固定資産税、国民健康保険税について財政調整基金を活用した引き下げを行うべきと考える。

古賀　邦彦　議員

一般会計補正予算を可決

議案第78号一般会計補正予算（第4号）

各分科会で補正予算を審査し、一般会計に10億7014万円を追加する補正予算を原案のとおり可決しました。補正予算の主な内容は、以下のとおりです。

※【　】内の金額は補正額（千円以下切り捨て）

◆総務費【375万円】
・防災総務費
・コンビニエンスストア交付業務

◆民生費【108万円】
・国民年金事業費

◆衛生費【△1215万円】
・可燃ごみ収集運搬業務（車両購入費）
（※債務負担行為補正あり）

◆商工費【2500万円】
・中小企業融資貸付事業

◆教育費【1146万円】
・小学校屋内運動場空調整備事業
・八女文芸事業

◆土木費【2億円】
・道路新設改良工事

◆農林水産業費【8億4100万円】
・花卉生産振興事業
・県補助農業振興事業
（強い農業構造確立推進事業費補助金）
・国補助農業振興事業
（強い農業づくり交付金事業補助金）
・森林経営管理事業
・かんがい施設整備事業

可燃ごみ収集運搬業務

債務負担行為補正（※）
令和８年度から令和 11 年度限度額：1699 万円



市で保有するパッカー車３台のうち、１台の計画的な更新を行う。今年度当初、車両の購入のための入札を実施したが、半導体不足や物流遅延等を理由に入札が成立しなかったため、令和８年度から令和11年度までの債務負担行為を設定し、確実な車両調達を図るもの。

※債務負担行為とは、将来の年度にわたって支払う債務（支出）について、あらかじめ予算として議会の議決を得て設定するもの。

質疑のポイント

問　入札が成立しなかった理由は。
答　納期が厳しく調達が難しいとのことであった。
問　納期はいつになるかわからないという回答だったのか。
答　納期について２年から３年はかかる見込みとのことなので、今回は余裕をもって３年半（42か月）の納入期限を設定している。

分科会審査

八女文芸事業



補正予算額：596万円

歴史や文化を大切に次世代へ引き継ぐとともに、文芸活動を通じた魅力あるまちづくりを進めるため、様々な文芸事業を開催する。五木寛之氏の寄贈資料を文化資源として保存・活用し、「五木寛之著作本コーナー」を創設するもの。

質疑のポイント

問　「五木寛之著作本コーナー」はどこに創設するのか。
答　田崎廣助美術館の入り口を入って、左側の部屋に展示コーナーを設置する予定である。
問　約3000冊の寄贈資料は、時期を分けて展示するのか。
答　膨大な資料のため、まずは調査を進め、活用方法や展示を考えていく。適宜テーマを設けて展示していく構想である。

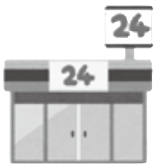
コンビニエンスストア交付業務

補正予算額：195万円

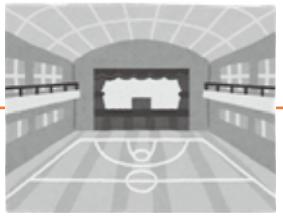
市役所に出向くことなく、コンビニエンスストア等の店舗のマルチコピー機で、電子証明書を利用した各種証明書の交付を行う事業。コンビニ交付の認知と定着を進め窓口の混雑緩和と待ち時間短縮のため、令和８年度に限りコンビニ交付に係る証明書発行手数料を一律１０円とする。今回の補正はコンビニ交付証明書発行件数の増加による店舗への手数料等の増加に伴うものである。

質疑のポイント

問　手数料が一律１０円の事業はいつまでなのか。
答　令和９年３月３１日までである。



小学校屋内運動場空調整備事業



補正予算額：550万円

近年の猛暑に伴い、屋内運動場に空調機を設置することで、熱中症の発症リスクを低減させ、児童の安全確保を図る。指定避難所の屋内運動場（三河小学校、岡山小学校、みさき学園）については、災害時の避難所機能強化による地域防災力の向上を図ることからパッケージエアコンを導入する計画である。指定避難所以外の屋内運動場については、初期費用等を抑えることができる移動式のスポットエアコンをレンタルして実証を行い、今後の本格導入について検討する。

岡山小学校について事業期間を前倒しして実施するため今回増額補正を行う。

質疑のポイント

問　指定避難所であるみさき学園体育館への導入時期は。
答　前倒しして、令和９年度に設計業務、令和１０年度に工事に取り組む計画である。
問　指定避難所以外の学校の体育館にエアコンを設置する考えは。
答　福島小学校および筑南小学校において、移動式のスポットエアコンの実証を行っており、その結果と学校の意見等をもとに本格導入について検討する。

国補助農業振興事業（強い農業づくり交付金事業補助金）



補正予算額：7億2720万円

国庫補助事業を活用し生産力強化や高品質化等につなげ、農業者の所得向上を図る事業。今回の補正で、仕上げ茶加工機や碾茶（※）加工ラインを整備し、需要に応じた増産を図る。

質疑のポイント

問　碾茶への転換によって煎茶の生産量が減少し、その流通に影響を及ぼしていると聞く。煎茶への影響も含めた将来の市場予測について、市としてどのように分析しているか。

答　今年度、八女茶業の中長期戦略の策定を進めている。基本路線としては伝統的な煎茶や玉露を主体とした産地基盤を守っていくことが重要であると認識しており、販売戦略も含めて議論を重ねていく。

※碾茶とは抹茶の原料となる茶葉。

森林経営管理事業



補正予算額：180万円

地域の住宅や防災拠点及び重要インフラ施設等に被害を及ぼす恐れのある危険木、倒木の除去費用に係る経費を支援する事業。今後、台風や大雨等の出水期を迎えるにあたり、申請件数の増加が見込まれるため増額補正するもの。

質疑のポイント

問　危険木等は公道沿いをはじめ市内のいたるところで確認できる状況である。被害を未然に防止し、安全を確保する観点から、補助対象要件の拡大はできないか。

答　森林施業の枠組みの中で対応できるものは、森林施業の補助事業等で対応していく。一方で、緊急性の高い大径木などの危険性も十分承知しているため、今後の事業の在り方については常に研究しながら進めていく。

議案第78号　令和8年度八女市一般会計補正予算（第4号）

反対討論（古賀　邦彦　議員）

コンビニエンスストア交付業務について、賛同できない。この事業は、住民負担の軽減というよりもマイナンバーカードの普及とコンビニ交付率を上げるための対応であり、マイナンバーカードを持つ人だけが優遇される。個人番号カード制度成立の際の付帯決議には、「マイナンバーカードの取得が任意であることに鑑み、取得の強制をしないこと、取得していない者に対する不当な差別的取り扱いは行わいようにすること」とある。今回の措置が「不当な差別的取り扱い」とまでは言わないが、マイナンバーカードを持つ人だけが利用できるコンビニ交付だけを極端に優遇する事業となっていることについて納得できない。

条例の制定・改正

条例とは、地方公共団体が自主的に制定するルールであり、法律等に違反しない範囲で定めることができます。条例は、法令の定めをもとにするものや、地域の特性やニーズに基づいて、住民の生活をより良くするために作られるものなど様々なものがあります。条例を制定・改正・廃止するには、議会での議決が必要です。

議案第74号　八女市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について　可　決

制定の背景・理由

内閣府令（令和７年内閣府令第１０４号、令和８年内閣府令第３号及び令和８年内閣府令第１０号）の施行に伴い、市町村が参考にすべき国基準がそれぞれ改正されたことを踏まえ、改正するもの。

改正内容

（１）児童対象性暴力等を防止し、また児童対象性暴力等が行われた場合に園児を適切に保護するための必要な措置を講じなければならないとする規定を追加する。

（２）小規模保育事業は原則として満３歳未満を対象としていたが、満３歳から小学校就学前までを対象とした満３歳以上限定小規模保育事業の創設をする。

（３）保育所に勤務する理学療法士等（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理担当職員等）を一人に限り保育士とみなすことができるが、当該理学療法士等が保育を行う場合は、保育所の保育士による支援体制を確保しなければならない。

（４）満３歳以上満４歳未満の園児おおむね２０人につき１人以上の保育士を置くこととされているところを、おおむね１５人につき１人以上とするよう改め、経過措置の期限を令和９年度末とする。

反対討論（森　茂生　議員）

（２）の小規模保育事業は、これまで原則０歳児から２歳児を受け入れてきたが、改正により、３歳児以上小学校就学前までの子の受け入れを可能とするものである。小規模保育事業は、面積基準自体は認可保育所と同等だが、運用上の柔軟性が高く、結果として認可保育所より緩くなっている。そのため、現行の保育所の認可基準から後退させるものである。子どもの発達に合わせ、適切な保育環境を整備することが公的責任として求められており、公的保育の後退につながりかねないため、賛成できない。

また、（３）は理学療法士などが保育士の代替として、実質的に保育士配置基準の穴埋めに使われてしまうことが想像される。保育士不足の原因を解消しないまま、目先の対応では根本的な解決にはならない。専門職の配置の必要性が高まっていることには理解するが、保育士の配置基準とは別立てで考えるべきである。特定理学療法士等が保育を行うに当たっては、原則として保育士と同一の保育室等において保育を行わなければならないことや支援する保育士が当該保育所での勤続年数が概ね３年以上であり、かつ、常勤者であることが望ましいとあるが、いずれも努力規定で法的拘束力はないため、実効性に疑問がある。以上の理由により本議案に反対する。





議案第76号　八女市の議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例の制定について

可　決

電子投票の概要

八女市では現在、投票用紙を用いた投票方法により、選挙を行っています。

今回の条例制定で、電子投票を導入することにより、白票以外の無効票や疑問票の削減、自書が困難な方のスムーズな投票、開票事務の効率化等が期待できます。

八女市では市議会議員及び市長の選挙における投票は、不在者投票、点字投票及び仮投票を除き、電子投票により行うこととなります。

■紙投票と電子投票の違い



※投票用タブレット画面のイメージ図

議案質疑　（水町　典子　議員）　※一部抜粋

問　導入予定時期及び導入可能な選挙の種類は。

答　令和９年４月の導入を予定している。対象の選挙は市議会議員選挙、市長選挙である。

問　システムエラーなどによる選挙無効などの懸念は。

答　技術的進化により、近年、他自治体で実施された電子投票ではシステムエラーによるトラブルは発生していない。

問　市民への周知方法及び模擬投票の実施は。

答　今後、デモ機を実際に活用して市役所や各種イベント等で模擬投票体験を予定している。

議案質疑　（田中　栄一　議員）　※一部抜粋

問　プログラムのバグや不具合が生じた場合の対応は。

答　不測の事態が発生した場合においても、データを保全し速やかに復旧できる体制を整える。また、トラブルが発生した時のために受託業者による現場サポート体制を敷く。

問　従前の投票方法と対比した場合の費用と人員削減効果は。

答　電子投票の導入により、事業者によるサポート体制等の委託費用が発生するが、電子投票の回数を重ねることによって、ノウハウが蓄積し、費用も人員も削減が見込まれる。

問　投票原則の「秘密投票の維持」と「投票内容の秘密」は担保されるのか。個人と投票先を把握されるリスクの技術的排除は整っているか。

答　有権者の受付システムと電子投票システムとは物理的に分離されるため、投票内容に個人情報は記録されない仕様となっている。

問　国政選挙等、電子投票が認められていない選挙と混在することで市民の混乱が懸念される。国に対して法律改正、県への条例制定の働きかけが必要では。

答　混乱が起きないように対応する。また、実績を積んだ自治体を中心に国・県に対して電子投票導入への要望を行っていく。

総務文教常任委員会での質疑内容

問　高齢者の不安に対するフォローはあるのか。

答　周知し、実際に体験してもらうことが重要であるため、シニアクラブ等の会合に出向く計画を予定している。

問　なぜ八女市が先行して実施するのか。

答　前回の市議会議員選挙で無効票が100票を超え、按分票も発生したため、これらを解消し、確実に市民の意思を反映できる。手が不自由で自書できない方がボタンを押すだけで投票できるメリットがある。

採決の結果、当委員会としては全員賛成で原案を認めることに決した。

議決結果一覧

９月定例会の採決結果（令和８年第４回定例会）

■は賛否が分かれた議案です

議案番号	議案名	採決結果
議案第73号	八女市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可　決
議案第74号	八女市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	可　決
議案第75号	八女市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可　決
議案第76号	八女市の議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例の制定について	可　決
議案第77号	令和７年度八女市下水道事業会計決算剰余金の処分について	可　決
議案第78号	令和８年度八女市一般会計補正予算（第４号）	可　決
議案第79号	令和８年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第１号）	可　決
認定第１号	令和７年度八女市各会計歳入歳出決算認定について	認　定
認定第２号	令和７年度八女市水道事業会計決算認定について	認　定
認定第３号	令和７年度八女市下水道事業会計決算認定について	認　定
議員提出議案第２号	非核三原則の堅持を求める意見書	可　決
議案第80号	公平委員会委員の選任について　«　大津山　篤　氏　»	同　意
花宗用水組合議会議員の補欠選挙　«　加藤　聡　氏　»		当　選 （指名推選）
人権擁護委員候補者の推薦について　«　小川　完　氏　»		適任と認める

報告（報告事項のため採決はありません）

報告第７号	株式会社クリエイトやべの令和７年度決算及び令和８年度事業の計画の報告について
報告第８号	一般財団法人星のふるさとの令和７年度決算及び令和８年度事業の計画の報告について
報告第９号	一般財団法人秘境杣の里の令和７年度決算及び令和８年度事業の計画の報告について
報告第10号	一般財団法人FM八女の令和７年度決算及び令和８年度事業の計画の報告について
報告第11号	令和７年度八女市一般会計予算継続費精算報告書の報告について
報告第12号	令和７年度八女市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ―：議長 議長は採決に加わりません	1 高橋 信広	2 花下 主茂	3 坂本 治郎	4 水町 典子	5 古賀 邦彦	6 久間 寿紀	7 原田 英雄	8 小山 和也	9 高山 正信	10 川口 堅志	11 田中 栄一	12 堤 康幸	13 石橋 義博	14 牛島 孝之	15 服部 良一	16 中島 信二	17 栗原 吉平	18 三角 真弓	19 森 茂生	20 栗山 徹雄	21 川口 誠二	22 橋本 正敏
議案第74号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	―
議案第78号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	―
認定第１号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	―
議員提出議案第２号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	―

傍聴者の声

傍聴者数：延べ66人

～議会を傍聴してのご意見・ご感想～　（原文のまま記載）

貴重なご意見・ご感想ありがとうございました。

○八女市が抱える課題がよく理解できた。議員各位及び執行部においては、難解な行政の専門用語をかみくだいて、平易な言葉で質疑のやりとりをする姿勢を期待したい。

非核三原則の堅持を求める意見書　可決

意見書の要旨

世界ではいまだ戦禍がやまず、国際情勢が不安定な状況下で、核の脅威が現実味を帯びる時代だからこそ、**非核三原則**は我が国と地域の安定を築く基盤として、今後も確実に守られるべきものである。

八女市議会は、国会及び日本政府に対して、核兵器のない平和な世界の実現を願う被爆地の思いをしっかりと受け止め、唯一の被爆国である我が国の使命として、非核三原則を堅持するよう要望する。

反対討論　**（坂本　治郎　議員）**

日本は非核三原則を掲げながら、アメリカの「核の傘」によって守られている現実がある。本意見書には非核三原則の堅持とアメリカの核抑止力をどのように両立させるのか重要な論点について説明がない。核兵器廃絶の理念に反対するものではないが、以上の理由から本意見書案に反対する。

賛成討論　**（田中　栄一　議員）**

非核三原則は、我が国の平和国家としての「国是」であるが、見直しや核保有の可能性に言及する動向すら見られる。八女市は「非核・恒久平和都市宣言」で、非核三原則の完全実施を願うこと等を宣言している。この非核三原則を原理・原則として私たちが次世代へ引き継いでいくことが国際社会の真の平和と安定をもたらす確かな基盤となる。本意見書は、主導的な役割を果たすためにも不可欠な意思表示である。

反対討論　**（牛島　孝之　議員）**

非核三原則は当然大事なものだが、この文言だけで核を「持ち込ませず」は本当に可能だろうか。非核三原則の堅持並びに核保有国、核を持っているであろう国へ核の全廃を求める宣言が必要であり、この文言では言葉足らずだと感じるため反対する。

賛成討論　**（水町　典子　議員）**

核を保有する大国による「力の支配」が強まり、核の脅威はかつてない高まりをみせている。広島の原爆の残り火を、平和の火として、戦後８１年間、灯し続けた八女市から国に対し、意見書を提出することは、大変意義深い。非人道的・大量殺戮兵器である核兵器は、絶対悪である。核抑止ではなく、どこまでも対話によって、核廃絶をあきらめないことを決意し、意見書の提出に賛成する。

8月臨時会

令和８年８月１０日(月)に第３回臨時会が開会されました。臨時会の内容は下記のとおりです。

８月臨時会の採決結果（令和８年第３回臨時会）

■は賛否が分かれた議案です

議案番号	議案名	採決結果
議員提出議案第１号	福岡県及び福岡県議会における高額な海外活動費の全容解明並びに福岡県と福岡県議会との歪な関係改善を求める意見書	可　決
議案第69号	専決処分について（事故による損害賠償）	可　決
議案第70号	専決処分について（事故による損害賠償）	可　決
議案第71号	専決処分について（令和８年度八女市一般会計補正予算（第２号））	可　決
議案第72号	令和８年度八女市一般会計補正予算（第３号）	可　決

○：賛成
●：反対
欠：欠席
―：議長
※本議案は、橋本議長提出議案のため、高橋副議長が議長職となり、採決には加わりません。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	高橋信広	花下主茂	坂本治郎	水町典子	古賀邦彦	久間寿紀	原田英雄	小山和也	高山正信	川口堅志	田中栄一	堤康幸	石橋義博	牛島孝之	服部良一	中島信二	栗原吉平	三角真弓	森茂生	栗山徹雄	川口誠二	橋本正敏
議員提出議案第１号	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○

福岡県及び福岡県議会における高額な海外活動費の全容解明並びに福岡県と福岡県議会との歪な関係改善を求める意見書　可決

意見書の要旨

福岡県及び福岡県議会における視察等の海外活動を巡り、公費の多額な支出や契約手続き等の透明性を欠く実態が連日報道され、県民に大きな衝撃を与えている。さらには、講演会等に係る高額な謝礼金の問題も浮上しており、県民は強い疑念を抱き、不信感を募らせている。市議会は、地域の最前線で住民生活と向き合い、限られた財源の最適な配分と有効活用に腐心しているが、県執行部及び県議会の不適切な公金支出や透明性の欠如は、県民からの信頼を大きく損なうものであり、断じて看過できるものではない。よって、福岡県が県民に対する説明責任を果たし、信頼回復を図るため、本市議会としては、一刻も早く意思を表明すべき緊急性の高い問題と判断し、福岡県知事に対して意見書を提出するもの。

賛成討論　**（原田　英雄　議員）**

本意見書の意義は、失墜した「地方自治への信頼」を取り戻し、二元代表制の根幹を守るという、地方議会としての断固たる意思を明確に示す点である。市議会は住民に最も近い現場で１円の税金の重みと向き合い、限られた財源の配分に真摯に議論を重ねている。その中で、広域自治体である福岡県において公金支出の透明性が欠如し、首長と議会が「対等な緊張関係」を失っている状況は地方自治の正義を根底から揺るがす事態であり、同じ地方自治の一翼を担う者として、断じて看過できない。地方自治の正義と信頼を守るために県が県民への説明責任を果たし、一日も早く健全な姿を取り戻すことを強く求める。

傍聴者の声

傍聴者数：20人

～議会を傍聴してのご意見・ご感想～　（原文のまま記載）

貴重なご意見・ご感想ありがとうございました。

○本日は県議会の金銭授受問題等に対する真相解明の議決があるという新聞報道でかけつけました。八女市議会の御健闘を祈ります。

ハラスメント防止条例調査特別委員会

議会におけるハラスメント防止条例の制定を目指して

ハラスメント防止条例調査特別委員会は、7月22日に福岡県小郡市と佐賀県鳥栖市議会を視察しました。

小郡市

相談しやすさと第三者性を重視した体制

小郡市では、内部の相談窓口に加え、外部専門機関による相談窓口を設置し、匿名相談にも対応しています。本人の承諾なく相談内容を共有しない仕組みなど、相談者が安心して声を上げられる環境づくりが進められていました。また、調査が必要な場合には、外部委託業者が事実関係の調査や事実認定、再発防止措置等を検討し、必要に応じて弁護士等を含む調査体制を設けるなど、公平性・第三者性の確保が図られていました。



小郡市での視察の様子

鳥栖市議会

議会独自条例の仕組みと運用上の課題

鳥栖市議会では、議員によるハラスメント防止を目的とした条例を制定し、相談員、議員で構成する調査委員会、外部有識者による審査会を設置しています。また、職員への過大な要求や長時間の対応の強要なども、ハラスメントになり得る行為として明示されています。一方、市長部局と議会をつなぐ仕組みや相談員の中立性、正当な議員活動とハラスメントとの線引きなど、実際の運用に向けた課題についても説明を受けました。



鳥栖市議会での視察の様子

八女市にどう活かす・研修を終えて

両市の視察を通じ、条例を制定するだけでなく、相談から調査、事実認定、当事者への対応、再発防止までの流れを具体化することが重要だと確認しました。八女市議会でも、市長部局との連携や第三者性の確保などを整理し、実際に機能する条例と運用体制の構築につなげてまいります。

花下　主茂

市民と議会の意見交換会

厚生常任委員会は、市内で活動するこども食堂の運営団体、社会福祉協議会と意見交換会を行いました。抱えている課題を直接聞き、議員の政策立案能力を強化するための重要な機会となりました。各運営団体から出たご意見の一部を紹介します。

●テーマ：こども食堂における課題について　**●会　場：八女市役所**

●開催日時：令和８年７月２４日（金）　**●団　体：八女市内のこども食堂9団体・社会福祉協議会**

現在、こども食堂への参加を高齢者にも呼びかけ、こどもと高齢者が同じテーブルを囲み、食事をする良い機会となっている。しかし、スタッフの高齢化・人員不足等に加え、中東情勢による物価高騰が切実な悩みである。市の補助金や様々なところからの支援を受け、限られた予算で運営しているが、支援が継続されるのか不安である。また、本当に支援が必要なこどもへ届いていないようにも思う。さらには、地域の理解が進まず孤独を感じることもある。継続的かつより充実した支援を要望するとともに、こども食堂の現場を実際に見ていただきたい。



行政区長会と市議会との意見交換会

令和８年８月１０日（月）に行政区長会と市議会との意見交換会が開催されました。各地区の代表行政区長が参加され、行政区長会から意見交換のテーマとして「議員定数」「会派活動」「議員視察」が示されました。意見交換会の内容を一部紹介します。

議員定数

議員定数について人口減少や財政難、広域化等の問題を考えた時に現在の定数である２２人が適当なのか意見交換が行われました。他自治体と比べて八女市の議員定数の見直しについての考え、日頃の議員活動について等の質問・意見が出されました。議会においては、議会活性化検討委員会で議論した経過を説明しました。

会派活動

各会派の活動実績、今年度に予定されている活動や会派のメリットについて質問がありました。議会において代表質問の運用の考えについて意見交換が行われました。会派として活動していることが市民へ伝わらないことは残念だと感じるため、より良い政策の実現に向けて活動が市民へ見えるように広報活動や、活動を充実させるための検討について要望がありました。

議員視察

行政区長会においても、市政課題に関する先進地視察を行っており、視察の有用性は認識しています。議員の各種視察の実績とその視察がどのように議員活動、市政に反映できているかを知りたいとの質問がありました。

各常任委員会委員長より質問に対する回答を行い、視察の重要性を含め、報告を行いました。





議員研修「財政セミナー」

（７月１７日、八女市役所）

立命館大学の森裕之教授（政策科学博士）を講師として招き、「八女市の財政を診る」というテーマで議員に対して財政セミナーを開催しました。八女市の財政について、他自治体の例を参考にしながら分かりやすく解説していただきました。人口減少や物価高などの要因による財政負担の増加は避けられない状況ではありますが、引き続き八女市の財政の健全性を保てるよう、議員一同注力してまいります。

福岡県議会主催「議会関係ハラスメント根絶のための議員研修」

（８月３日、福岡市）

福岡県内の市町村議会議員を対象に、ハラスメントに対する研修会が開かれました。世間でも注目を集めるハラスメントですが、今回の研修では主に様々な種類のハラスメントやインターネット上の違法・有害情報における対応方法について理解を深めることができました。市民と第一線で向き合う議員はお互いを尊重し合い、よりよい八女市をつくっていかなければなりません。今後も市民に寄り添った議員活動を行っていきます。



聞いてきました！　まちの声

表紙によせて VOL.26

若い力で支える林業の未来

Mt.Agri 代表　栗原（くりはら）　竜太（りゅうた） 氏



矢部村で林業に携わる栗原竜太さん。祖父、父と続く林業の家に育ち、２０代前半から林業の道へ。現在はMt.Agri（矢部村）で代表を務めながら、矢部村愛林クラブで活動し、１１月１２日（木）に沖縄県で開催される「林業研究グループ九州地区交換研修大会」で活動実績を発表されます。林業の魅力や課題、これからの八女の林業についてお話をうかがいました。

林業を始めたきっかけは何ですか？

祖父、父と林業をしていましたが、高校卒業後は一般企業に就職しました。当時は林業に危険なイメージもあり、父からも無理に継ぐよう言われたことはありませんでした。２０代前半で仕事を辞めて実家に戻った際、父から声をかけてもらったことをきっかけに林業を始めました。小学生の頃には杉の苗植えや下草刈りを体験しており、今では自分が子どもたちに教える立場になっています。

林業の楽しさと大変さは？

体を動かすことが好きで、自然の中で働けることに魅力を感じています。一方で、常に危険と隣り合わせなので、安全管理には特に気を配っています。自然を相手にしながら、自分の思った通りに仕事ができた時には大きな達成感があります。

大会への意気込みは？

矢部村愛林クラブの活動実績を発表します。長い歴史をつないでこられた先輩方のためにも、「小さな村でも頑張っている」ということをしっかり伝えたいです。九州地区大会で選ばれると全国大会につながるので、良い発表ができればと思います。

これからの八女の林業に必要なことは？

まずは若い人の参入です。高齢化が進む中、一緒に働く同世代の仲間がもっと増えてほしいです。また、八女は県境にあるため、木材が市外や県外へ流れることも多く、八女を中心に木材が循環する仕組みができれば、林業の発展にもつながると思います。

市議会へのメッセージをお願いします。

林業を続け、仕事をさらに発展させていくためには機械の導入が必要ですが、高性能な林業機械は非常に高額です。若い人や親元で林業を始める人が参入しやすいよう、機械導入などへの支援を充実させてほしいです。また、専業だけでなく、副業や兼業で林業を担い、地域を支えている人もいます。そうした人を守ることは、自分の山だけでなく、地域全体を守ることにもつながります。地域の実情に合った支援の仕組みができればと思います。

編集後記

現代社会に出現した人工知能（ＡＩ）。何かを問えば瞬時に正確に、しかも応用まで答えてくれる。挨拶文やお礼状、謝罪文や反省文はＡＩにとっては得意分野。それだけに留まらず、人の言動まで教えてくれる。昭和30年代生まれの私には驚きと共にどことなく虚しさが交錯する。相手に自分の気持ちをしっかりと伝えたい言動を果たして人工知能が作り上げる事が出来るだろうか。心からの感謝、心からの謝罪、心からの反省、そして心からの心配などを伝えるのに十分だろうか。思いやりや労い、尊敬など人として誰もが持つその思いはＡＩをもってしても伝わらないかもしれない。時代の変化、進化と共に私たちも対応していかなければならない。ただ、どれだけ時代が変わっても人として決して変えてはいけない大切なものがあるような気がする。もしこの先、感情を持ったＡＩが出現したなら人間としての存在感が薄れてきそうな。そんな事を思うと、今度は期待と恐怖が交錯する今日この頃である。　小山　和也

発行責任者
議長　橋本正敏

広報委員会
委員長　古賀邦彦
副委員長　水町典子
委員　服部良一
委員　高山正信
委員　小山和也
委員　原田英雄
委員　久間寿紀
委員　坂本治郎
委員　花下主茂

議会を傍聴しませんか？

次回定例会：12月２日（水）予定

八女市役所本庁舎４階議場午前１０時から
八女市議会事務局TEL:２３-４９２２
※日程は変更になることがあります。